議員活動自己検証シート（公約の取組）　（対象期間：令和６年度）

会派名	清友会
期数　（議員歴）	６期　（２１年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会　等	
宍戸　稔	【検証値の捉え方】 １年間の議員活動・取組内容については・・・・・ 「ほぼ満足している」=”○” 1.0 「さらに努力する余地があると思う」=”△” 0.5 「思ったような取組ができていない」=”▼” 0		総務常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会　委員長

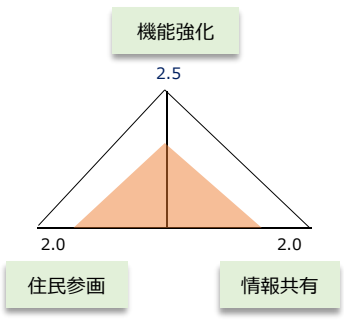
公約を検証する背景（根拠）	**議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」**
検証の対象／分野	**議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について**（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	**「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）**

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶ 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】
❷ 議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。【機能強化】
❸ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。【機能強化】
❹ 地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】
❺ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。【機能強化】【情報共有】

（公約1）地域の声を市政に

地域資源の魅力発信と交流人口の拡大（君田温泉の賑わいの再生）

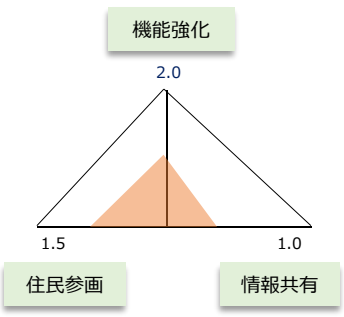


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	市民の声として、三次市の、君田町の地域資源、拠点施設である君田温泉の活性化による地域のにぎわいの創出がある。この声に応える取組として君田自治連等と意見交換を行った。しかし、一民間企業の運営方針と利用者、地元の思いのずれがある部分を埋める取組が出来なかった。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	△	
情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	○	運営会社がプロポーザルで示した事項の忠実な履行が行われているのか調査を行った。地元との連携という部分では希薄であり、なかでも地元食材はまったく使われていないこと、地域住民が親近感を感じられなくなっていることがわかる。このことは地元住民、市内外の利用者の声であり、情報の共有はできている。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	○	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	▼	
機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	上記のことから、実情をもとに一般質問等で行政との委託契約内容とは異なる運営が行われているのではないと質す。君田温泉森の泉は三次の宝であるというのであればもっと行政が関与することが必要と質す。行政財産から普通財産にしたことから行政の関与が弱まったことが痛感できる。会派内及び他会派議員との実情の共有は図られた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	○	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	▼	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.0	6.5

（公約1）地域の声を市政に

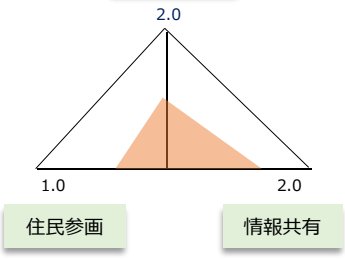
人口減少地域での住宅団地整備



		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	周辺部の旧町村の人口減少が著しいことから既公営住宅の家賃の見直し、リニューアル、住宅団地の造成を行ってはどうかとの声を行政に届ける取組を行った。しかし、市は住宅策には消極的で民間にそれを委ねている。自治連を中心に、地域住民の若者の流失への危機感は大変強いものがあるが取組はできなかった。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	▼	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	調査では、三良坂町を除く旧町村はこの5年間で14％～16％人口が減少している。三良坂町では住宅団地の土地区画整理が行われ、若者を中心として定住促進が図られこの5年で人口の減少は見られない。この状況からも行政が主体的に特に周辺部の住宅政策には取り組む方向性を示すべきであることの行動はできていない。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	▼	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	上記のことからも、中心市街地とは異なる住宅政策が周辺部では必要と考え、一般質問のでの提言、会派内での情報共有を行いその実現に努めた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	○	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	▼	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	4.5

（公約2）学校給食の無償化

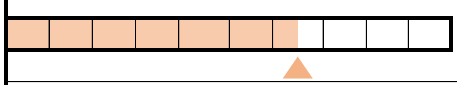


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	△	学校関係者との意見交換で、家庭によっては、給食費が家計への影響を及ぼすことで、子どもたちに必要な学びの機会を奪うことに繋がっていることが本市でも懸念されるとの情報を得る。その無償化の必要性を把握できた。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	▼	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	○	調査により、給食費の請求や集金、滞納があった場合教職員の時間や精神的負担になっている。給食費無償化によって、これらの時間やエネルギーを教育や勉強に向けることができることを認識する。無償化に伴う財政負担は三次市の場合2億円係ることからの財政支援の必要性を認識する。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	△	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	議会内での議論を行い、国に対しての意見書の提出に努め、可決提出が出来た。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	○	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	▼	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0	0.0	0.0	5.0

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

地域の声を市政に
地域資源の魅力発信と交流人口の拡大（君田温泉の賑わいの再生）

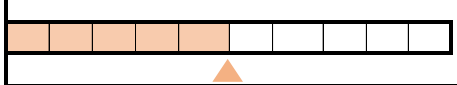


6.5

地域の声を市政に
人口減少地域での住宅団地整備

4.5

学校給食の無償化



5.0

活動の一コマ
君田自治区連合会 総会

課題の抽出・次年度の目標設定

地域の声を市政に	行政は周辺部（旧町村）の地域資源を生かして地域のにぎわいと活性化で人口減少対策をと言うが行政のかかわりの希薄性、若者定住住宅、住宅団地の取組は行政の主体性が課題
地域の声を市政に	地域資源の活かし方等を地域自治組織、市内各種団体（商工会議所、商工会、観光推進機構）等と情報交換を行う。
学校給食の無償化	市民の声を聴く機会を増やす。 個別議員の政策提言でなく、議会としての政策提言に結び付く取組を行う。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会